

愛知県公立大学法人第四期中期目標の基本的な考え方について

目標の位置付け

激変する社会情勢に対応できる人材を育成し、特色ある教育研究の推進による地域課題の解決に取り組む期間（2025～2030年度）

大学を取り巻く状況と課題

《状況》

18歳人口の減少による大学間競争の激化、社会のグローバル化、AIなどのデジタル技術革新の急速な進展、地域社会が大学に求める役割の増加などにより、大学も社会のニーズに合わせた改革を求められている。

《課題》

- ・優れた学生を確保するため、特色のある教育研究を推進し独自性を打ち出す必要がある。
- ・行政、企業、地域社会、他大学との連携強化により外部資金の獲得を促進するなど、将来を見据えた経営戦略を掲げる必要がある。
- ・これまでの枠組みに捉われない教育研究を一層推進することにより、次々と生まれる新たな課題を解決し、社会のニーズに対応できるような人材を育成する必要がある。
- ・様々な社会課題の解決や地域住民・地元企業のニーズに応えるため、これまで以上の地域連携・貢献に取り組む必要がある。

各大学及び法人の取組の方向性

県立大学

《果たすべき役割》

これまでの枠組みに捉われない教育を推進し、次々と生まれる新たな課題を解決する人材を育成するとともに、教育研究の成果を地域社会に還元し、地域課題の解決に貢献する。

《取組の方向性》

- ・文理横断教育の推進、学部間連携の強化、愛知県立芸術大学との連携強化を実施し、県立大学のリソースを活かした特色ある教育を推進する。
- ・PBL教育（課題解決型教育）、アントレプレナーシップ教育（起業家教育）などの実践的な教育を推進し、地域課題の解決に貢献できる人材を育成する。
- ・急速に変化する社会情勢や地域社会のニーズに的確に対応するため、必要に応じて学部等の見直しを図る。

芸術大学

《果たすべき役割》

芸術文化に携わる優れた人材（芸術家・研究者・教育者その他芸術を支える担い手）を育成するとともに、地域社会や他の自治体等との多様な連携を更に強化し、芸術文化の発展と地域課題の解決に貢献する。

《取組の方向性》

- ・質の高い芸術教育、独創的な研究を行うとともに、大学の活動情報の積極的な発信により、大学のブランドや知名度を向上させる。
- ・地域のニーズに芸術面から貢献できる教育研究やアントレプレナーシップ教育（起業家教育）を推進し、地域課題の解決に貢献できる人材を育成する。

法人運営

《果たすべき役割》

理事長、学長のリーダーシップのもと、大学の強みや特色を生かした戦略的な法人・大学運営を行うとともに、法人や2大学に求められる役割や期待の変化を的確に把握し、変化に対応できるよう、教育研究組織・人員体制の見直しを図る。

《取組の方向性》

- ・愛知県立大学と愛知県立芸術大学の連携を一層促進し、大学の垣根を超えた教育研究や地域貢献を推進する。
- ・DXの推進による効率化や組織・業務の見直しなどを推進し、より一層の事務の効率化、合理化を図る。
- ・大学の教育研究、社会貢献（地域貢献）の成果や業務運営等の情報を戦略的に発信し、法人及び2大学の社会的存在感及び信頼感を一層向上させる。

※中期目標の記述は、法人が創意工夫を発揮しつつ自主的、自律的に業務運営の改善に取り組むことを促す観点から、**大きな取組の方向性**を示すものとする。